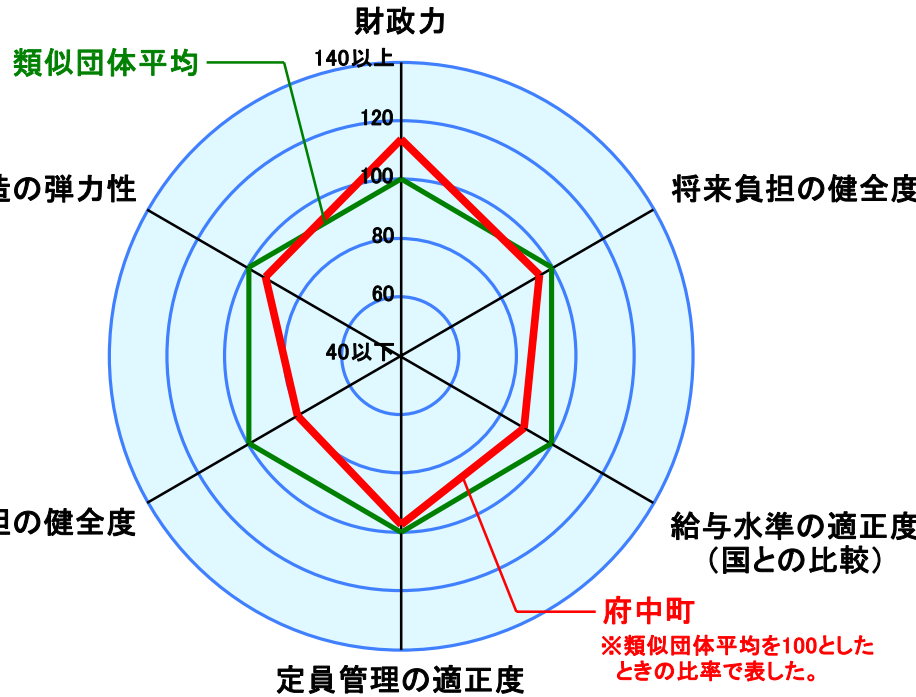
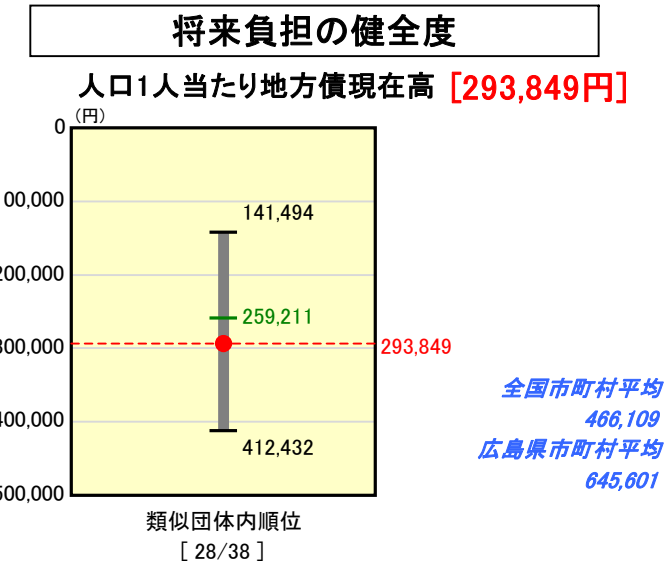
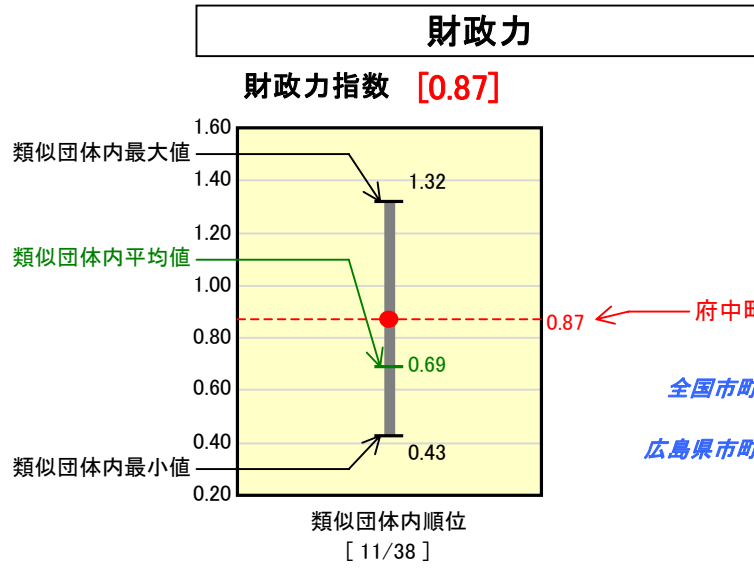


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 府中町

人口	50,220人(H17.3.31現在)
面積	10.45 km ²
歳入総額	11,363,242千円
歳出総額	11,344,950千円
実質収支	3,327千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 【財政力指数】
 - 町税収入は平成10年度から減収が続いているが、歳入に占める割合は類似団体の中でも高い水準にあり、財政力指数も類似団体平均より高い数値となっている。今後も税率の向上等により歳入の確保に努める。
- 【経常収支比率】
 - 行財政改革の取組みを通じて経常経費の削減に努めているが、全国平均と同程度、類似団体の平均よりも若干高い数値となっている。平成15年度(82.6)に比べ数値が悪化しているが、これは地方交付税の大幅な減額によるものである。今後も引き続き新規職員採用の抑制など経常経費の削減に努める。
- 【起債制限比率】
 - 類似団体に比べ高い数値となっているが、公債費適正化計画により、平成13年度以降は数値が低下している(平成12年度:14.5→平成16年度:12.7)。今後も将来の財政負担を見据えた、計画的な行財政運営を行う。
- 【人口1人当たり地方債現在高】
 - 県や全国の平均より低いが、類似団体平均よりは若干高い金額となっている。普通債残高は地方債の発行抑制によって平成10年度以降減少を続けている(平成9年度:146億円→平成16年度:101億円)が、臨時財政対策債などの特例地方債が増加している。
- 【ラスパイレス指数】
 - 府中町の給与制度は、国の制度に準拠することを原則としており、ラスパイレス指数は100に近い数値となる。全国自治体の約半数で独自の給与カットを実施しているため、全国のラスパイレス指数が低下する傾向にあり、相対的に府中町のラスパイレス指数が平均を上回っている。府中町においては、個々職員の給与レベルを下げるのではなく、職員数を適正に管理する方法により、総人件費の抑制に取り組んでいる。
- 【人口1,000人当たり職員数】
 - 県や全国の平均より2人程度下回っており、他の自治体に比べて効率的な行政運営が行われていることが伺える。しかし、府中町の面積は他の自治体より狭いため、広大な行政区域を有する自治体と単純な比較ができるわけではないが、行政区域が狭いというメリットを最大限生かした行政運営を目指し、さらに定員管理の適正化を進めていく。

